

# みさと

議会だより



美郷町議会だより

第18号

平成21年4月

美郷町議会 第1回定例会報告	.....	2
もっとくわしく!! 活発な質疑が行われる	.....	5
一般質問 13人が登壇	.....	6
委員会報告 教育民生常任委員会	.....	15
産業建設常任委員会	.....	16
追跡 どうなったの?あの質問	.....	17
住民の声	.....	18



# 美郷町議会 第1回定例会報告



議長 吉田 義雄

平成21年第1回定例会が3月6日に招集され、会期を3月19日までの14日間と決め、条例案15件、予算案19件、一般事件案10件が提案され慎重審議しました。また、一般質問には美郷町議会始まって以来初の議長を除く全員（13人）が質問台に立ち、2日間にわたって雇用問題など町が抱える諸施策について質しました。提案された議案につきましては、19日に全議案とも可決して閉会しました。

## 提案された議案

### 条例案

#### ◎美郷町個人情報保護条例の一部改正

●条例の対象外とする個人情報について、新統計法に併せた条文整理

#### ◎美郷町農村情報連絡無線施設設置及び管理に関する条例の一部改正

●防災行政無線の設置に要する費用については利用者負担は無料となる。

#### ◎美郷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

●職員の勤務時間が15分短縮された。（昼休みが12時

からとなり役場の業務時間は今までどおりで午前8時30分から午後5時15分まで変更はありません。）

#### ◎美郷町委員会の委員等並びに非常勤の職員に対する報酬及び費用弁償支給条例の一部改正

●福祉事務所設置に伴い生活保護医療業務の嘱託医が追加される。

#### ◎美郷町職員の給与に関する条例の一部改正

●人事院勧告を受け、医師の手当限度額が改正された。

#### ◎美郷町職員の給与の特例に関する条例の制定

●現在、実施されている職員の給与カットが23年3月末まで引き続き実施される。尚、カット率は4・7％から1・7％の範囲内。

#### ◎美郷町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

●適用を受ける設備の取得価格合計額が2700万円を越えるものに限るとされた。

#### ◎美郷町電算機器管理基金条例の制定

●パソコン等の維持、管理、更新等の財源に充てるための基金が設けられた。

#### ◎美郷町教職員住宅条例の一部改正

●築瀬教員住宅が廃止される。（廃止後は、定住促進住宅となる。）

#### ◎美郷町スクールバス管理運行に関する条例の一部改正

●吾郷地区の県道改良により、停留所（大橋北口）

が廃止された。

#### ◎美郷町乳幼児等医療費助成に関する条例施行規則の一部改正

●健康保険法施行令等の改正による高額介護合算療養費制度の創設に伴う条文整理

#### ◎美郷町小集落改良住宅条例の一部改正

●都賀行地区（高梨）の住宅を定住促進住宅に用途変更された。

●吾郷地区水防事業の完成に伴い、吾郷地区を災害危険区域に指定し、建築制限がかけられた。

#### ◎美郷町営住宅条例の一部改正

●本町団地の一部が廃止された。

#### ◎美郷町若者定住住宅条例の一部改正

●やなしおニュータウン（別府地区）5棟が追加された。

# 予算

## 平成21年度予算総額 94億4932万3千円

予算は平成21年度予算及び平成20年度補正予算が提出された。各会計別の予算総額は次のとおり。

会計名	本年度	前年度	前年対比
一般会計	7,904,000千円	5,779,000千円	36.8%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	13,118千円	15,504千円	▲15.4%
簡易水道事業特別会計	170,473千円	168,332千円	1.3%
下水道事業特別会計	271,192千円	299,044千円	▲9.3%
君谷診療所特別会計	4,126千円	3,972千円	3.9%
国民健康保険特別会計	766,711千円	680,103千円	12.7%
国民健康保険診療所特別会計	139,904千円	137,321千円	1.9%
老人保健特別会計	2,416千円	149,537千円	▲98.4%
後期高齢者医療特別会計	177,383千円	188,959千円	▲6.1%
合計	9,449,323千円	7,421,772千円	27.3%

### 平成20年度補正予算

	補正額	補正後総額
一般会計	356,582千円	6,539,092千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	▲323千円	15,181千円
簡易水道事業特別会計	15,000千円	184,350千円
下水道事業特別会計	31,834千円	329,861千円
君谷診療所特別会計	461千円	4,433千円
国民健康保険特別会計	30,227千円	719,306千円
国民健康保険診療所特別会計	3,487千円	146,422千円
老人保健特別会計	▲42,148千円	133,946千円
後期高齢者医療特別会計	▲25,772千円	163,187千円
合計	369,348千円	8,235,778千円

◎大田地区広域市町村圏振興協議会の廃止

施設名	指定した管理者
ゴールドエンルートピアおおち 美郷町カヌーの里おおち 美郷町潮温泉大和荘	財団法人 美郷町開発公社
美郷町潮交流研修宿泊施設 美郷町希少林産物等展示物販売施設 観光船第一大和丸及び繋留施設	株式会社 グリーンロードだいわ
美郷町大和農林水産物処理加工場	だいわ特産加工センター利用組合

◎公の施設の指定管理者の指定について  
●指定管理者の指定期限が満了となったため改めて指定の契約を交わされた。指定された施設は次のとおり。

### 一般事件案

- 邑智郡と大田市で組織していた協議会が廃止された。
- ◎美郷町過疎地域自立促進計画の一部変更
  - バイオマス事業、町道改良事業、農道整備事業、防災無線整備事業、定住促進団地整備事業、中学校整備事業等実施に伴い計画が一部変更された。
- ◎辺地に係る総合整備計画の確定
  - 町道八神千原線、町道赤来光峠線の整備に伴う辺地計画を策定された。
- ◎美郷町道路線の認定
  - 水防事業の吾郷団地内4路線と大原峠支線（村之郷地内）を町道に認定。
- ◎美郷町道路線の変更
  - 町道整備等に伴う町道4路線の起終点の変更。
- ◎美郷町道路線の廃止
  - 水防事業により森脇線を廃止。
- ◎人権擁護委員候補者の推薦につき意見をもとめること
  - 人権擁護委員の候補者に（美郷町吾郷）福嶋脩二氏は適任であると意見を付した。

## 陳情審査報告

◎本定例会で陳情審査報告がされ満場一致で報告のとおり決しました。

陳情要旨	審議結果	付託常任委員会
「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書提出について	採択	総務常任委員会

## 発委

◎「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書を決議

陳情の採択をうけ総務常任委員会より意見書が提出され、全会一致で次の意見書を決議しました。なお、意見書は総理大臣をはじめ関係各位に提出しました。

### 「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書

日本社会における労働環境の大きな変化の波は、働くことに困難を抱える人々を増大させ社会問題となっています。また2000年以降の急速な構造改革により、経済や雇用、産業や地方など、様々な分野に格差を生じさせました。

働く機会が得られないことで「ワーキング」「ネットカフェ難民」「偽装請負」など新たな貧困と労働の商品化が広がっています。また、障害を抱える人々や社会とのつながりが作れない若者など、働きたくても働けない人々の増大は、日本全体を覆う共通した地域課題です。

一方、NPOや協同組合、ボランティア団体など様々な非営利団体は、地域の課題を地域住民自ら解決することを目指し事業展開しています。この一つである「協同労働の協同組合」は、「働くこと」を通じて、「人と人のつながりを取り戻し、コミュニティーの再生を目指す」活動を続けており、上記の社会問題解決の手段の一つとして、大変注目を集めております。

しかし、現在この「協同労働の協同組合」には法的根拠がないため、社会的理解が不十分であり、団体として入札・契約ができない、社会保障の負担が働く個人にかかるなどの問題があります。

既に欧米では、労働者組合（ワーカーズコープ、ワーカーズコレクティブ）についての法制度が整備されています。日本でも「協同労働の協同組合」の法制度を求める取組が広がり、10,000を越える団体がこの法制度化に賛同し、また、国会でも超党派の議員連盟が立ち上がるなど法制化の検討が始まりました。

雇用・労働の問題と地域活性化の問題は不離一体です。だれもが「希望と誇りを持って働く」、仕事を通じて「安心と豊かさを実感できるコミュニティーをつくる」、「人と人のつながりや社会とのつながりを感じる」、こうした働き方を目指す協同労働の協同組合は、市民事業による市民主体のまちづくりを創造するものであり、働くこと・生きることに困難を抱える人々自身が、社会連携の中で仕事をおこし、社会に参加する道を開くものです。

国においても、社会の実情を踏まえ、課題解決の有力な制度として、「協同労働の協同組合法」の速やかなる制度を求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

平成21年3月19日

島根県邑智郡美郷町議会

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣  
厚生労働大臣・総務大臣・経済産業大臣

# もっとくわしく!!

## 活発な質疑が行われる

### 景山良材議員

**問** 休憩時間15分の短縮でどう変わるか。(美郷町職員の勤務時間、休憩等に関する条例の一部改正を)

**答** 始まり8時30分～12時まで、13時～17時15分までということ。午後は若干長いが合わせて7時間45分とする。

### 旗根正一議員

**問** 労働時間の短縮は、労働単価がどれくらいアップするか。

**答** 3・2%アップする。

### 高橋紘紀議員

**問** 吾郷・沢谷の若者定住住宅造成事業の内容は。

**答** 吾郷8区画6610㎡、沢谷4区画2950㎡、合併浄化槽1基と防犯灯2基。

両方に場内道路・駐車場・上下水道を予定。

### 原修議員

**問** 一般管理費の中に、単身赴任手当が予算計上されているが、どういう目的か。

**答** 後期高齢者医療制度組合へ4月から職員を3年間派遣する。それに伴う予算の計上である。

### 井下慈海議員

**問** 電算機管理基金条例での基金目標額と電算機の更新は何年位の用途か。

**答** 5千万円位の目標、システム関係のコンピューターは5年から6年が目安。

### 西嶋二郎議員

**問** 1日15分、勤務時間が短縮されるが、時間外手当で対応するのか。

**答** すべて時間外手当にするわけではなく、昼の12時から12時15分までの間であり、手当分として10万円計上している。

### 品川光博議員

**問** 高校テニスコート跡地購入の坪単価約5万円は高すぎるのでは、その根拠は。

**答** 県は、固定資産の評価から示されている、下げてもらうよう交渉したい。

### 安田勝司議員

**問** 簡易水道建設事業費の測量設計委託費はこの簡水の建設をする為か。

**答** 石原地区と沢谷方面の簡易水道を統合する計画。実施予定は平成24年から25年頃になる。

### 黒川民次郎議員

**問** 観光船が2隻あるのになぜ1隻だけ指定管理を受けたか。

**答** エンジン馬力不足と保険料が高いため、1隻で十分である。

### 波多野祐康議員

**問** 一部事務組合の負担金の内、川本悠邑ふるさと会館の償還金額と償還期限は。

**答** 会館償還分として95万3千400円、期限は24年度までとなっている。

### 佐竹一夫議員

**問** 防火水槽の予算がかなり高く計上してあるが、安くあがれば、もう1基ということも可能か。

**答** 県営事業で、セット事業であり、県と協議し、可能ならその様にしたい。

# 13人登壇



町長  
沖野 健

# 一般質問

## 都市交流の成果と今後の対策は

引き続きU・イターンを呼びかける



高橋 紘紀 議員

**問**

都市交流事業は旧邑智町にあつては昭和59年4月に大阪吹田市との交流を契機とし、昭和61年に広島邑智友の会、昭和63年に近畿邑智友の会、平成3年に東京邑智友の会が結成された。以来、毎年交流を続けているが、その成果と今後の対応策を伺う。中でも町重点施策である定住対策のU・イターンの実績とふるさと納税の見込及び実績を伺う。

沖野町長

**答**

4つの出身者会・広島市己斐地区との交流事業、年末の「年の瀬ふるさとバック」などの取

り組みを行っている。交流の中で近い将来にふるさとに帰る予定と伺っている方や、帰られた方も数名ある。

ふるさと納税は11名の出身者会の方から寄付があった。

各種交流事業が直ちにU・イターンによる人口増などの定住として現れることは厳しいと考えるが、引き続きU・イターンの呼びかけや空き家情報の提供など継続して取り組み、息の長い交流を続けたい。

また、ふるさと寄付については色々な機会を捉えて情報発信やお願いをしたい。

今後も各交流のあらゆる機会を捉え出身者会の皆様からふるさとへの提言など

を頂き、またU・イターンして頂ける様に安心安全な町づくりを進めたい。

## 公務員の守秘義務に該当しないか

公務員の守秘義務に該当しない

**問**

昨年末、議会にも提案されていない若者定住住宅建設の場所・戸数が公然と交わされていた事は、計画時点で外部に漏れていたと推察するほかはない。

この事は、公務員の守秘義務や服務規程に抵触するのではないかと。

沖野町長

**答** 新たに職員になった者は、服務の宣誓書に署名する。

町服務規程には、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を執行するとしている。

さらに、島根県自治研修所主催の新規採用職員研修を受け、この中の地方公務員制度の研修科目で秘密を守る義務を研修する。

公務員が守るべき秘密には、「職務上の秘密」と

「職務上知り得た秘密」がある。

今回の場合、職員が「職務上の秘密」を話しているとの指摘であるかと思う。

この中の秘密とは一般的に知られていない事実であつて、かつ、個人又は町の利益を害すると客観的に認められるものに限られるということであり、公務員が守るべき秘密に該当しないと判断する。

## 自然災害による造林地への復旧支援策を

### 個人所有林の支援は出来ない

**問** 雪害により山林の造林木、雑木、果樹、庭木等々の被害は相当のものであった。

公有林では徐伐、間伐によりその材の売却益もあるが、個人所有林では徐伐、間伐もままならない状況にある。

民有被害林の復旧費用の支援は考えられないか。

合わせて、町の総面積に占める山林の割合・面積。町有林・公有林の造林面積。被害総面積・被害額。これらの復旧費。また、今後の町の造林計画を伺う。

### 答

町の山林の面積は2万5153ヘクタールで総面積に占める割合は約89%。その内、造林面積は

町有林203ヘクタール、個人所有林は8226ヘクタールとなっている。

被害面積・金額

は町有林0・2ヘクタールで16万7000円、個人所有林が11ヘクタールで920万7000円、復旧費は、町有林が12万円、個人所有林が660万円と推計する。

今後の造林計画は、町・森林組合等の森林計画に基づき、森林資源の



雪害による倒木

整備を実施するが、平成16年度より新植及び補植の補助制度が廃止され、以来個人で新植、補植はなくなり、近年では森林総合研究所（旧緑資源機構）としての計画が主であり、平均的に毎年約20ヘクタール程度の新植が実施される見込みである。

個人所有林の復旧費用の支援は出来ない。基本的には森林経営は自然との闘いで、山火事、水害、風害、雪害等の災害時における森林国営保険制度があるので、加入し災害へ備えて頂きたい。

## 新型インフルエンザ対策は

### 遺漏のないよう対策を講じる



旗根正一 議員

### 問

鳥などのインフルエンザウイルスが、人に感染し易い様に性質を換え、誰も免疫がない新しい新型インフルエンザが世界中で大流行することが懸念される。

以前、この件について質問した時、今後、国・県の対策や指導をみながら本町

### 答

としての対策を考えて行きたいとの答弁だった。その後、どの様な新型インフルエンザ対策を講じられたか。

### 沖野町長

昨年の10月・11月に県主催による新型インフルエンザ対策に係る説明会や、発生を想定した

対策訓練が開催された。その中では、国・県・市町村の役割分担や計画策定などについて説明がなされ、最前線の対応は地元市町村が担うことになった。

また、本年1月には、大田市・邑智郡を圏域とした

大田地区新型インフルエンザ対策推進会議が発足し、ようやく新型インフルエンザに対する予防対策、発生時の対応について協議が始まった。

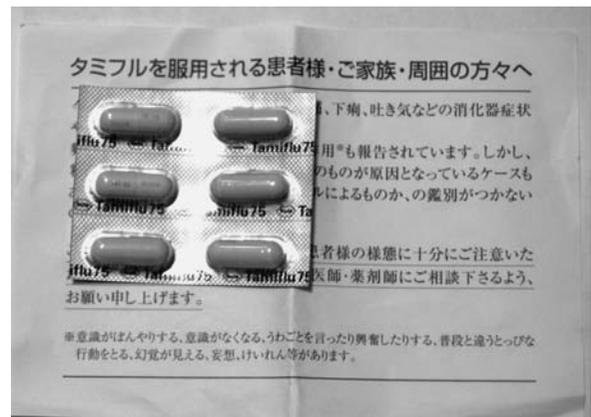
インフルエンザ対策は始

まったばかりという現在の状況であるが、発生時に住民が多く集まる学校等の施

設の閉鎖や、発熱外来、発症者収容施設の開設場所などの対応を定める「行動計画」や、発生時の役場の業務体制をどの様にするのかの「業務継続計画」を作る必要がある。

今後、説明会や関係機関、関係課との協議を進める中で、遺漏のないよう対策を講じたい。

また、マスクや手袋、防護服などのインフルエンザ対策の備品を、21年度から備蓄したい。



## バス路線の 運行廃止に伴う対策を

運行は難しい



景山良材 議員

**問** 過疎高齢化が進む中、中山間地を走る唯一の公共交通機関のバス路線が、赤字を理由に石見大田〜赤名間の1日4便を、4月から石見大田〜酒谷間とし、飯南町赤名までの約8kmの路線廃止が計画されている。

今後の交通手段の確保について、町長の所見を伺う。

① 現行ダイヤで、朝夕の1便だけでも残せないか。  
② 島根県の発表によると「自治会等輸送支援モデル事業」が創設され、自治会等ボランティアで、高齢者の移送を担う仕組みを新年

度から始めるとあるが本町の場合はどうか。

また運行主体は法人格でもない任意団体も可能とあるが、集落営農組合組織や自治会も含まれるのか。  
③ 運賃を徴収しない仕組みとなっているが、運行範囲は町外でも可能か。

沖野町長

**答**

① 飯南町から補助金の拠出がない。これまでの実績から多くの利用は見込めないで、赤名への運行は難しいと判断する。

② この事業は、中山間地域などの交通空白・不便地域で、自治会などが助け合

いの一環として行い、営利を目的としない輸送活動を継続的に実施し、輸送活動に必要な経費は自治会費等により支出され、利用者はガソリン代等の実費を負担することになる。また、タクシー会社がある場合はその事業者との協議か、バス路線がある場合は運行事業者との協議が必要となる。運行主体については、任意団体でも可能だが、輸送のみを行う目的



廃止予定のバス停

## 中期的な就労の場の展望は

雇用の場の確保・創出に努力する

**問**

第一次長期総合計画でも、産業、雇用、定住の促進が図られる中で、依然として人口減少に、歯止めのかからないのが現状であり、就労の場として現在進められている、パーク堆肥を中心とする企

の任意団体は対象とならない。

③ 集落などの生活圏が町外を含む場合は、運行が可能。いずれにしても、道路運送法など法令を遵守し、交通事業者などとの合意など、十分な準備・調整が必要と考える。

**答**

業、健康食品の企業、ゴルフ場跡地に進出が期待される企業の、雇用の見通しについて、町長に問う。  
① 企業の現行人員と将来の雇用計画は。  
② ゴルフ場跡地進出予定の企業は、椎茸の原木生産

や有機肥料生産、リサイクル工場を設置した会社と伺うが、現地生産なのか。

沖野町長

**答**

① パーク堆肥を中心とする企業では、現行29人で将来的には35人。健康食品の企業では、現行11人で将来的には20人、ゴルフ場跡地に進出が期待されるバイオテック美郷並びに貴島産業は、現段階では原木椎茸の周年栽培、木質バイオマス、有機肥料の製造、有機野菜の生産、果樹等5種類の事業展開を考えており、将来的に

は20人程度の雇用を考えている。町では新年度から「産業・雇用・定住支援センター」を設置し、地場産業の振興、起業化支援、定住支援住宅の整備や空き家情報の提供など、住まいと働き場をセットにした支援体制の整備を図ると共に、国の経済対策等の制度を活用しながら、雇用の場の確保・創出に向けて努力する。

② 椎茸の原木生産については、すべて現地生産であります。

## 町としての

## 緊急臨時雇用対策を問う

今後の情勢動向を注視して



原 修 議員

**問**

世界的な景気後退で、国民の生活が厳

しさを増す中、本町でも建設業、製造業、小売業等の



緊急臨時雇用対策

閉鎖により、従業員の解雇あるいは止むなく休まざるを得なくなつた方もおられる。こういった町民に対し支援策を講じることが、安心、安全の町づくりに関与するものと判断する。以上の観点から、町長の見解ならび考えを伺う。

① 町内事業所で今年度の閉鎖件数、それに伴う失業者数、及び年度末から新年度にかけての雇用情報を、どのように判断しているか。

② 地域活性化、生活対策臨時交付金が交付されるが、緊急臨時雇用対策として

予算配分はできないか。又新年度の国の予算に雇用創出のため地方交付税が盛り込まれていると聞かすが、どのように反映されるか。

③ 緊急臨時雇用の場として、一般事務、行政関連の公共施設等の維持管理や清掃などの作業は考えられないか。

沖野町長

**答**

① 今年度、町内事業所の閉鎖件数は3件、閉鎖に伴う失業者数は32人、この内、町内町外への復職は16人である。年度末から新年度に向けての雇用情勢は、世界的な不況から本町においても大変厳しい。現状では国の経済対策に期待すると共に、各事業所の制度支援策を活用し、今後の情勢動向を注視したい。

② 本交付金は、2月4日実施計画書を国へ提出し、2月26日に内示を受け、3月5日に補助金交付申請を行った。特別な緊急対策として予算配分はでき

ないが、概に21年度予算に、雇用創出を図るため、公共事業の大幅な増額が盛り込まれている。

③ 町の緊急経済対策として、臨時職員の雇用という形でなく、雪害対策として、道路維持費の中で、障害木の伐採等を業者をして実施している。雇用の対策として、「産業・雇用・定住支援センター」を産業振興課に設置して対応する。

## 小中一貫教育の取り組みは

小中の連携をより一層強化する

**問**

本町では、平成14年度から18年3月まで中高一貫教育が実施され、効果は実証されている。邑智高校は閉校となったが、平成22年度より邑智中学校の移転が決定されている。又、22年度からは小学校で本格的に英語の授業が始まることから、小中一貫教育に取り組むベストタイミングと判断する。本町には小中学校合せて4校しかない。邑智・大和の学校立地環境を考慮しながら、22年度を目的に実施されることを提言するが、町長の所見を伺う。

**答**

沖野町長

子どもを取りまく環境が大きく変化し、多くの教育課題が生じていることから、全国的にも何らかの形で小中一貫教育について取り入れている学校が増加している。

**答**

田辺教育長

本町の小中一貫教育の現状は、中学校の全教員が小学校へ出向き、社会科授業、人権教育、児童との交流、教職員との情報交換等の連携を行う。英語教科については、ALTと英語教員が出向く。算数、数学については、TT授業（教員2人体制）を実施している。また、子ども達の心身の

発達段階の問題も指摘されることから、保健師も加えた「保・小・中特別支援連携協議会」により実態把握に努めている。

本町においては、現在行っている小中の連携をより一層強化するなかで「中一ギャップ」の解消に努める。

## 町道の草刈りとガードレール改修を

今後実態を調査しながら検討する



黒川民次郎 議員

**問**

山間地の集落などで過疎化が進む中で、年を取ってからも、ここで暮らせる環境づくりが必要と考える。そこで、町長に次の2点について伺う。

① 町道の草刈りは、他の連合自治会に通じる路線の草刈りが、自治会員の高齢化に伴い、無理な状況である。そこで土木業者などに単価を上乘せしてでも実施を望む。

**答**

② 今年は大雪に見舞われ、農林業などに大きな被害をもたらした。除雪経費も2千万円と高額な補正となり、除雪関係者によると、町道県道を問わず除雪作業にガードレールが作業効率を鈍化させ、幅員を狭くする要因となる。排雪場所がありながら、数10m以上を押し進まなければならない箇所がある。所々のガードレールをワイヤーロープに取り替えることに



より作業効率が向上する。ガードレールの一部変更を提案する。

沖野町長

**答**

① 平成17年度から町内一斉清掃時に、地域内は各自治会で除草を実施している。また、集落間を結ぶ路線及びバス路線等において、集落間の距離が長く除草が困難な路線に関しては、1m当たり10円の助成をし、実施自治会及び助成金額も増加している。今年度からバス路線を対象に防草対策として、

限られた予算の中で防草コンクリートを順次施工する。また、集落間を結ぶ路線等については、20年度の緊急経済対策で連合自治会への助成を予定しており、

地域活動体制・運営基盤強化特別交付金の中で、対応していく。さらに従来の1m当たり10円の助成も合わせて、地域が一体となった取り組みをお願いしたい。業者委託については今後実態を調査しながら検討したい。

② 通常のガードレールは除雪時に壁になり、作業効率が悪くなっている。しかし、通常のガードレールは提案のガードレールより安価で、視線誘導性もあり、維持管理も少ない利点がある。既設のガードレールをガードケーブルに変更すると、最低でも8mは全

て取り替えなくてはならず、経費も掛かる。除雪時にガードケーブル越しに排雪すると、ケーブルが緩み維持管理上の問題も出現する可能性もある。除雪時を考えると、期間的には少ない期間なので、維持管理上や経費的にも現行のままで良いと考えているが、調査の上検討する。

## 町内で閉鎖された工場跡地等の有効活用策はないか

有効活用がはかれるのなら「雇用定住支援センター」紹介したい



品川光博 議員

**問**

昨年の秋から複数の企業が不況のあおりを受け、経営破綻が発生した。長年にわたり地域経済の発展に大きな役割を担って頂いていただけに地域から生産活動の物音が消えることや雇用が失われたことに大きな不安と寂しさを感じる。今後それぞれの会社は、競売等の整理が進むことが想定されるのが、工場跡地等の有効活用が図

考えると、期間的には少ない期間なので、維持管理上や経費的にも現行のままで良いと考えているが、調査の上検討する。

られ、新しい雇用の創出、地域力の再生につながるよう行政の格段の努力を期待したいと思うが、町長の考えを伺う。

**答**

企業施設の施設、跡地については、破綻に関する一連の手続きがなされている段階である。町として、基本的に建物が解かれた状態であれば、公共用地として活用する余地はあ

## 不法投棄された大型家電製品の撤去に行政の知恵を

土地所有者による処分が原則

**問**

町内の国・県・町道に、不法投棄をなくすため監視カメラや、看板が設置され、清潔な町づくりに努力されているにも関わらず、信喜地域江川沿いの林道脇に冷蔵庫、テレビ等が不法投棄されている。撤去について、自治会も苦慮している。適切な助言指導を頂きたい。

沖野町長

**答**

不法投棄の連絡があった場合、警察に連絡をとり、投棄物の所有者の調査を行う。その結果、所有者が判明した場合、不法投棄者に処理してもらおうが、所有者が判明しない場合、その処理は土地

ろうかと考えるが、建物がある状態での取得は考えていない。新年度に設置する「産業・雇用・定住支援セ

ンター」において、有効活用が図れるものなら、紹介したい。



不法投棄された家電品

所有者にゆだねられる。ただし、危険物や、環境に被害を及ぼすと予想される物の場合は、土地所有者、関係機関、町で協議の上、処理する。

質問の投棄された場所は、町有地であったので、

警察の方に立会していただき、不法投棄者が確定しな  
町の場合、景観等を考慮し、  
町の判断で処理する。

## 限界集落対策を問う

政策の柱として位置づける



波多野祐康 議員



共同清掃中の集落道

**問**

本町

における限界集落の数は、29集落で全体の27%も概当しており、更に増大の傾向にある。このまま行くと、これまで集落でできていた、行事や共同作業などの共同活動ができなくなり、集落としての機能が

**答**

沖野町長

昨年、実施した限界集落アンケートは、82%と高い回収率で、住民の関心の高い身近なテーマであったと感じている。この対策は重要な課題であり、全課を横断した内部組織の検討委員会を設け検討している。今後の動きについては、「地域活動体制、運営基盤強化特別交付金」を新たに設け、連合自治会地域の活動体制、基盤を強化し、自治コミュニティ機能を維持、活性化す

果たせなく、集落崩壊の危惧すら感じられ憂慮すべき事態である。

この現状を踏まえ、町長は施政方針で、住民の満足度の向上を図るため「限界集落対策」を政策の柱として積極的に進めると述べられ、今回のアンケートの結果や国などの方針をわきまえておられるが、今後の動きについて具体的に伺いたい。又「集落支援員を配置して」とあるが、この点について詳しくお聞きしたい。

るために自治会等への助成を行う。

地域のアドバイザー、コーディネーター役として「集落支援員」を配置する。支援員の業務内容は、連合自治会と連携しながら地域の点検や課題の把握を行い、話し合いの場や連携体制づくり、町と連携した地域独自の対策の検討などである。配置はおおむね連合

自治会単位で、町内で10名を予定しており町長が委嘱し、月に10日程度の勤務をお願いすることとなる。

地域の活動がメインとなり、担当地域の連合自治会の役割となり、組織の意思、活動の方針に沿った関わりができることが望ましいと考えている。

## 学校給食の地産地消の推進は

一層推進したい



岡先利和 議員

**問**

学校給食では、大和地域を中心に、野菜を地元で調達する地産地消が行われている。

安全・安心を確保し楽しい給食を提供するために地産地消に努めると町長の施

**答**

政方針にあるが、現在の地元の野菜の出荷量と全体での割合はどのくらいか。

次に、以前は生産者・JA職員・役場担当者・給食センター職員・栄養士等の連絡会議が頻繁に持たれ、

意見交換や品質向上の話し合いをし、意思の疎通が図られたが、現在はどのような方法で地産地消の推進に努めているか。

**答**

沖野町長

食の安全・安心については、学校給食センターとしても常に念頭に置く中で、日々業務を行っている。

また、学校給食における地産地消ということでは、地元食材の提供に努めている。

現在の野菜全体量は、今年度、2月末現在では7594kgで、その内、地元野菜の出荷量は3127kgとなっており、全体の41%が地元野菜となっている。昨年度の出荷割合を比較すると4%増となっており、今後も地元生産者との連携により、地産地消を一層推進したい。

次に、地産地消の連絡会議は、町の食育を進めて行くために自治会をはじめ生産者・学校・保育所の関係者・給食栄養士も委員となり「美郷町食育推進会議」を今年度より立ち上げた。この会議の中で従来から

ある地産地消の会議のメンバーも委員となつて、食育推進計画のテーマである。「豊かな食がっなく食育の輪」に基づき協議している。

将来を担う子ども達のために、地域や学校関係者等で食の大切さがしっかりと根付いた教育に取り組む。



## 鳥獣対策を

制度を最大限活用して頂きたい



伊藤 豊 議員

**問** 最近、町内のいたる所で猿が出没し農作物に甚大な被害が出ている。近年特に猿が増え、群れの数も多くなっている。

猿による被害対策を真剣に考え対策を講じる必要があると思うが、これについて町長の所見と具体策を伺う。

沖野町長

**答**

猿による農林作物への被害は、全国的に見ても過去から今日に至るまで、「攻めの方法」として捕獲を中心に対策を講じてきた経過がある中で、猿の増加や被害の増大、更には新たな地域で被害が発生している。この現状を起因するものは、集落が猿の餌場と化してしまい、猿の増加を高めていることが原因で、この根本的な問題を解消していく必要があると考えている。新たな町の被害対策として「守りの方法」に重点を置き、集落か

ら餌付け要因を無くし、被害に強い畑作りを集落をはじめ町全体で取り組むことが必要であると考えている。猿を含めた獣害対策は、すでに中山間地域直接払い制度や農地・水・環境等の制度により、営農活動や集落環境保全等の補完的活動の一つとして集落全体での取り組み要件にも含まれているので、営農の向上を図る意味からも制度を最大限有効活用して対応して頂きたい。そして町としても研究機関と連携しながら総合的な取り組みを広めていくことに努めたい。

## 若者定住住宅と雇用の場を

「産業・雇用・定住支援センター」を設置し支援

**問**

若者定住住宅がこれまで都賀本郷、別府地区に新しく2団地が完成した。また21年度は沢谷と吾郷地区の2箇所の計画があり、沢山の応募があると思うが、働く場所（企業誘致）と結びつけて行く考えはないか伺う。

**答**

緊急定住対策事業の一つとして都賀本郷地域に5戸建設し、20人の方に入居を、また現在、別府地域に5戸を建設中であり、22人の入居されることとなっている。今年度についても、22年10月の国勢調査を見据え、若者定住住



やなしおニュータウン

宅への入居による人口増加を図るため、事業の前倒しを行う中で、吾郷地域へ8戸、沢谷地域へ4戸の住宅を建設する予定です。入居募集は、広範囲にするよう取り組む考えである。昨年

クセス、少子高齢化など美郷町の現状では、企業誘致は難しいと考えており地場産業を振興していくことが新たな雇用創出に繋がってゆくものと考えている。

## 中学生のスクールバス利用は

登校時については検討したい

**問**

邑智小学校統合の交通手段を検討するときに中学生と一緒に考えた経緯があるが（6年経過）22年度は小中が同じ場

所に通学することになるので、この件について再度検討する必要があるかと思うが、どの様にお考えか伺う。

沖野町長

**答**

スクールバス運行にあたっては邑智小学校児童の下校に合わせた運行としているので、現在小学校低学年が午後3時、高学年が午後5時。また、毎週月曜は一斉下校として午後3時30分の運行となっている。一方邑智中学校では、部活動により生徒が下校する時間が午後6時10分頃になるので、邑智スクールバス利用での調整は

**答**

困難である。中学校生徒の通学バスの確保は、登下校の時間を調整して、町スクールバス、石見交通バスが運行しており。また、町では公共交通機関の利用促進に取り組んでいる観点からも、今後も公共バスの利用増を図って行きたいと思っている。

田中教育課長

## 少子化対策について

川本町と協同で、独身者の会を設立し事業を実施



西嶋二郎 議員

**問**

少子化問題は、全国的な問題である。少子化の要因は、未婚者の増大、出生率の低下にあると云われておる。美郷町に

於いても多くの未婚の方がおり、出生率も我々の子供の頃と違い兄弟の数も半分以上であろうと思う。この現状がこの先長く続くとし

たら、町の存続に関わる重大な問題である。町長の所信表明にある出会い型の交流システムづくりとは、どのようなものか。

沖野町長

**答**

急激な少子化に歯止めをかけるための結婚対策は、非常に重要な施策の一つである。

旧邑智町時代を含め、これまで色々企画をしたが、結婚まで進んだのは大変少数という結果が残っている。今回、地域活性化センターの補助事業を活用して、川本町と美郷町が協同して取り組むこととしてい

## 公用車に宣伝広告を

広報審査委員会で検討する

**問**

町の財政は非常に厳しいものがある。ある自治体では、公用車の車体に企業の広告を募集して燃料代を捻出しているという新聞報道があった。一考の価値はあると思うが町長の考えは。

**答**

公用車の広告は、県内では、安来市、松江市で実施されており、この広告料が一台当年間2万円余りと聞いておる。美郷町では、平成19年度から、広告掲載要綱を制定し、現在、町ホームページと広報誌を対象として広告

募集を行っている。平成20年度は、ホームページへの掲載分が1社で7万8000円、

広報誌への掲載はなかった。役場内に広報審査委員会があり、今後の広告媒体の検討を進める中で、町が発行する印刷物や封筒などを対象に考えているが、公用車への広告の掲載についてもあわせて検討する。

## 新エネルギー導入について

町内の製造と消費のリサイクルを確立



安田勝司 議員

**問**

町長の施政方針で、20年度策定の美郷町地域新エネルギー詳細ビジョン調査に基づきゴールデンユートピアおちへ

のペレットボイラーの導入と、事業所や木質バイオマスペレット燃料製造設備を導入する補助制度を設け、町内の製造と消費のリサイ



クルを確立し燃料費の削減と雇用の場を図るとあるが、次の点について町長の所見を問う。

予算で経済対策として商工業振興費で3千万円が計上され、内1千万円が町単独補助と説明があったが、総事業費3千万円での事業が出来ると思われるか、又これに併せて、バイオマス利活用交付金が併用出来ると聞いたがこの点はどうか。

ペレットストーブの公共施設導入及び町単独補助制度により引き続き、新エネルギーの普及、導入を進めたいとあるが、公共施設への導入計画を具体的に。お聞かせ願いたい。又、併せて町単独制度の活用状況と今後の見通しについて伺う。

沖野町長

**答**

20年度で「美郷町地域新エネルギー詳細ビジョン策定調査」を行い、温泉施設等への木質バイオマス利用について詳細に調査を行い事業の具体化を検討してきた。この中で、チップボイ



役場庁舎内のペレットストーブ

ラー・ペレットボイラーの比較やペレット製造業について調査を行った結果、ゴードンユニットピアの加温などの熱源を木質バイオマスのペレットボイラーに取り替えた場合、燃料費が約半分に削減できることが判明した。

町内でペレットを製造し、町内で消費するエネルギーの地産地消の利サイクルを確立することが一番良い方法であると考え、ゴードンユニットピアおうちへのペレットボイラーの導入と町内で民間事業者がペレットを製造する場合には、設備設置への補助を実

施することとした。

当面町内で使用する年間500トン程度のペレットを製造する場合、機械の組合せなどにより、設備費用は大幅に増減するが、調査の中で最小の設備を検討した。又民間業者がペレット製造設備を導入する場合補助率3分の1のバイオマス利活用事業補助金が活用でき、新年度予算に計上してい

る。

公共施設へのペレットストーブ等の導入については、現在、大和診療所など3カ所に設置今後各種補助制度を活用する中で、公民館等への公共施設への導入を進めて参りたい。町単についても現在5人の方に利用していただいております、本年度も引き続き普及に努める。

## スポーツ振興は

生涯スポーツの環境づくりを支援する



井下慈海 議員

**問** スポーツ振興法に市町村の教育委員会、国の基本的計画を参しやすくして、その地方の実情に即したスポーツの振興に関する計画を定めるものとするところ。

美郷町第一次長期総合計画に、住民が生涯にわたって自分の能力や体力にあっただ様なスポーツを気軽に楽しめるように、総合型地域スポーツクラブの設立・運営を支援し、スポーツ施



都賀行公民館

③ 社会体育の振興は、町体育協会をはじめとする、町内スポーツ団体等への補助金により、独自性をもった活動が活発に行われている。

社会体育によって地域で人を育てられるよう、これからの社会全体の課題であり、生涯にわたってスポーツを楽しむためにも気軽にスポーツに参加できるような環境づくりを支援する。

設の整備、指導者の養成、情報の提供などを進めると示されているが、町の取り組みについて問う。

① 本町のスポーツ振興計画は策定されているか。

② 総合型地域スポーツクラブ設立への進捗状況は。

③ 社会体育・学校体育の現状と課題及び予算額と事業内容は。

沖野町長

**答**

① 策定が義務づけられているので、総合計画の中でその方向性の一端を定めている。

② 都賀行公民館で総合型地域スポーツクラブ設立の準備を進めている。

次に予算は、社会体育で、保健体育総務費・体育施設費で計上している723万5000円とカヌーの里に係わる指定管理料を含む経費、1688万600

0円である。  
学校体育では、小学校で  
93万5000円、中学校で

は579万4000円を計  
上している。

## 中学校の校名変更と統合を

現時点では考えていない



佐竹一夫 議員

**問** 邑智高校が閉校と  
なり、来年からその  
後が中学校になることとな  
りました。これを機に、  
先々を見て（大和中学校の  
新入生平成25年度9名、平  
成26年度6名となる）校名  
の変更と、統合を考えると  
いかがでしょうか。合併し  
て5年目で、大和地域の  
方々にとっては、役場が無  
くなり、中学校もなくなる  
ということには、納得がい  
かないと思いますので、当  
面校舎は、邑智校舎、大和  
校舎としておき、以前邑智

町時代に粕淵と沢谷でおこ  
なっていた、3年生になっ  
たら、スクールバスで粕淵  
の校舎に通学して一緒に勉  
強する様な方式を提案する  
ものであります。  
未だに、大和地域、邑智  
地域と見えない壁が、心の  
中に感じられると思いま  
す。多感な年頃に、一緒に  
学び、遊ぶことは一生の思  
い出になり、そこから徐々  
に理解しあえ、そういう気  
持ちも解消されていくので  
はないでしょうか、町長の  
考えを伺います。

沖野町長

**答**

町の重点施策  
として、若者住  
宅の建設、保育料の軽  
減などの子育て支援策  
をセットにして若者定  
住対策を積極的に推進  
して、人口減少を食い  
止めていきたいと思っ  
ておりますので、学校  
統合については、現時  
点でその方針を定める  
ことは、考えておりま  
せん。



22年度より邑智中学校

## 公有財産の活用や解体方針について

公有財産活用委員会で基準を定める

**問**

町長の施政方針  
に、公有財産の活用、  
解体の方針が示されてお  
りました。結構なことだ  
と思うが、解体の方針は  
あったが、備品の活用とい  
う面が示されておりませ  
ん。（旧宮内小学校に保管  
されているエアコン、大和  
事務所の健康器具等、更新  
されて使わなくなったパン  
コン）このことについて  
いかがか。

**答**

沖野町長  
平成19年度に役場  
「公有財産活用委員会」を  
立ち上げ、施設の利活用の  
大まかなものを決定した。  
備品の活用については、  
関係課による検討をふまえ  
作業を進めているが、ほか  
どっていない。  
「公有財産活用委員会」  
を開催し譲渡或いは処分  
の基準を定める。

## 委員会報告

### 教育民生常任委員会視察報告

教育民生常任委員会は、3月2日・3日の両日、  
次の2ヶ所の視察研修をした。

1日目

鹿足郡、吉賀町の町が  
運営する福祉事務所の実  
態について研修。吉賀町  
福祉事務所の組織形態  
は、単独設置でなく、保  
健福祉課長が福祉事務所  
長兼務の形を取っておら  
れ、福祉業務の円滑化を  
図るため大課制を導入  
し、福祉業務と健保、国  
保、老健そして、後期高  
齢者の連携した課とされ  
ていた。美郷町も4月か  
ら福祉事務所を設置し、  
町民の負託に即応し、身  
近な福祉を目指している  
ところであり大いに参考  
となった。

2日目

山口市の社会福祉法人、  
おおとり保育園を視察研修  
した。おおとり保育園は市  
内ということもあって、多  
様化した保育需要に対応す  
る多機能型保育所として、  
基本的な保育所保育に加え  
て、特殊保育事業（乳児保  
育、延長保育、障害児保育、  
一時保育）を実施されてい  
た。

感じたことは、ケース  
ワーカーの処遇につい  
て、特殊な仕事で秘守義  
務等のため孤立化するこ  
とが想像される。課内での  
補助や研修の必要性を  
強く感じた。又調査、事  
後の指導を円滑に進める  
ため、全ての課との連携を  
密にし、社会福祉協議会、  
民生児童委員との連携も一  
層強化しなければならない  
ものと感じた。

又、子育て中の家庭を対  
象に保育所機能の開放、育  
児相談、講座、子育てサー  
クル作り、情報の提供な  
ど、地域子育てセンター事  
業を推進されている。子育  
てセンターを保育所が事業  
主体となって実施されるこ  
とにより、国からの補助が

年間740万円程度あると伺った。支援センターを保育所が実施する利点は、保育所の施設がそのまま利用できることと、保育所への入所に繋がりがやすいということを感じた。



## 産業建設常任委員会視察報告

日 時 平成21年2月24日～25日

視察場所 高知県中土佐町及び香川県三豊市  
視察目的

- ①有害鳥獣対策（猿）対策「モンキー」事業の研修
- ②竹資源活用による「竹綿」製造機開発の現状について

### 「モンキードッグ」事業について

高知県中土佐町は急峻な山々と太平洋に挟まれた農村で、水稲、畑作、果樹等が営まれていて、美郷町と同様に野生猿による農作物への被害、田畑荒しに悩まされていた町である。こうした背景から犬による猿追

い払い事業に着目、名づけて「モンキードッグ」事業を誕生させた。事業の内容は「農作物などを襲う野生サルを訓練されたイヌによって山に追い払って被害を軽減させる」事業である。具体的な取り組みは次のとおり。

- 動物等の愛護及び管理に関する法律に基いて町の条例整備を図った。
- ①モンキードッグは狩猟犬の準用扱いで、サルが出没している状態で始めてリード（網）が外せません。
- 対象となる犬の条件
- ①犬のしつけは生後6ヶ月位からが最適とされるが6歳まで可能
- ②町内での飼い犬で性別は問わない
- ③飼い犬登録をされていて各種のワクチン・予防接種をしていること
- ④6歳未満の中型犬もしくは大型犬
- ⑤フィラリア予防をしていること
- 訓練と費用
- ①訓練所は公共的な（警察犬等）資格を有する訓練所に委ねる
- ②訓練費用は5ヶ月で25万円とワクチン料8000円が必要
- 訓練終了後の管理
- ①訓練を受けた犬は1日1～3キロの散歩、サル出没すれば追い払い散歩中運用訓練をする
- ②年間病気予防等に5万円

程度必要となるが、これについては行政負担となっているがその他は全て飼い主負担で管理することになっている。

**感想** 訓練を受けた犬は飼い主に従順で指図には素晴らしい反応を示します。

中土佐町では現在3地域で3頭の犬が活躍中であると説明を受けた。そして、犬が活躍する地域ではサル出沒も激減している状況にあり、委員会としてもこの事業導入に関して地域と行政が議論を交わして検討を進めることも必要と感じた。

担当課職員に美郷町産業課の安田亮君と親しく情報交換され、鳥獣対策に頑張っておられる職員さんにも出会えて感激しました。



### 「竹綿」量産装置開発の研修

香川県三豊市の三豊・東亜機工を視察。

紙加工機械の製造、開発を手掛ける東亜機工は竹から「竹綿」を量産する機械装置の販売を本格化させる社会である。田淵国広社長自らのお出迎えを受けて事業内容について説明を受けた。

されている。原油の代わりに竹綿利用のプラスチックは廃棄時の有害物質が少なく自動車の内装材として引き合いがあるそうだ。

**感想** 無限に等しい竹を資源とすることは、私達の町でも事業化も充分可能と考えられるが機械は開発されたばかりで性能、耐久性等の実証データが無いため積極的に推進を進めるには無理があると思う。只、竹綿から作られる商品には快適な生活環境が得られる将来性があり、民間で事業化が進めば行政として、そのパイプ役が果たせればと感じた。

同社は竹を粉砕する過程で独自の工法を開発「竹綿」を安価に大量生産する装置を初めて実現した会社である。



紙の代替品として竹の性質を活かし抗菌、消臭の効果を持つ紙おむつ、介護用シート、マスク等が製品化

# 追跡

## どうなったの？ あの質問…

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。  
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。

ゆうちょ銀行・郵便局と  
他の金融機関のあいだで、  
お振込ができるようになりました。

※開始に伴い、相互送金サービスは終了させていただきました。

▶くわしくはこちらから  
(振込用の口座番号等をご案内しております)



**問…** 町の収納金融機関に  
「ゆうちょ銀行」の指定を。

**答…** 将来の推移を見守りたい。

- 平成21年4月1日から、税金などの一部公共料金が、中国地方管内のゆうちょ銀行と各郵便局の窓口でも納めていただくことが可能になりました。
  - 美郷町の各郵便局でも、5つの町税と後期高齢者医療保険料の6つの公共料金が窓口で納付できることになりました。  
水道使用料、下水道使用料、住宅使用料やその他の使用料、保育料や老人施設利用負担金、教員住宅貸付収入等は対象となっていないのでご注意ください。
  - ゆうちょ銀行を通して行う口座払いは、全国のゆうちょ銀行及び郵便局を対象としています。
- ※5つの町税とは、固定資産税、町民税、県民税、軽自動車税、国民健康保険税が窓口で納付できます。

# 住民の声

## 「美郷町 粕河に住んで3年目」

将月 さな江

町からきた、百姓はまだ1年生、なかなか百姓の進級はできません。整ったホームベースにいます、今日を生き、天気の良い日は感謝、雨の降る前には何か種蒔き、目標は自給自足の家庭菜園、なんと今では、町の友人子供に有機栽培野菜のお土産持参が出来るまでに。気軽に田舎暮らしを楽しめることが一番！

喫茶店でのティータイムを今は、家横の畑前で津ノ目山をつまみに自焙煎コーヒーの一時、又リビングルームから家庭菜園畑に置き換えただけの時間経過、今日も田舎暮らしをさつさとやろが無言のシンドさを乗り越える合言葉。時折、田舎メガネから町メガネにかけ直し、田舎の知恵袋を盗みつつ、自然と点と点がつながって一



つの線となってきた。これを生かし、町から田舎訪問希望者も続々、この2年間で数組の友人を迎える羽目になっている。彼らも美郷町の大自然に感動し、新鮮野菜の味と香りの風味を堪能し慌ただし

く、夫の自慢野菜と「美郷の地産地消」を手土産に「また必ず来る。」と言い残り、町にトンボ帰り。近くに世界遺産の石見銀山しかり、粕河には「小原本陣」の宿泊処あり、山の隠れ家「鴨山焼窯元」もあり、「古民家ゆるり」の田舎料理あり

り、ふだん着の温泉「潮」あり、魅力満載で美郷町ファンをコソコソ増員。古い自分を諦める時期、ヤング世代はすぐ後ろ、実験は何回でも試みできる。それにはかあちゃんのが大！鳥根和牛の如し「モーオン！モーオン！かあちゃんのか」旗揚げ！！かあちゃんが動けば網をにぎりたい、とうちゃんは、後からついてくる。勿論かわいいべっこ牛もついてくる。

最大の田舎自慢は広さゆとり、自然は嘘をつかない正直もの。野菜も汗手間流した分ほど育った大根は格別。新鮮な美郷町を！

### 編集後記

昨年は大雪に見舞われ、農林業などに被害があり大変な年でした。でも最近はやかな日々が続く、田畑の雪が消え、これからは農作業などの準備で忙しくなります。

美郷町も21年度、新年度予算が提案されましたが、厳しい財政状況の中で、3月定例会が開催され、防災無線基地の設置、地域活性化・生活対策臨時交付金事業などの諸問題などについて13名の議員が一般質問に立ち町長の答弁をもとめました。邑智高校の廃止も決まり何かさみしいものを感じます。月日が経つのは早いもので、私たち議員も最終年度を迎え、7月には改選になります。議員は美郷町のさらなる発展のため悔いのない充実した活動を続けます。

(黒川 記)

### 美郷町議会事務局紹介



書記  
大畑 真紀



【新】局長  
木村 稔